

## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(771)7218
担当部課名	管理部	学校保健	課	清新学校給食センター
事務事業名	配送委託費		事業コード	14121

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第4章	人間性豊かな子どもを育成します	事業開始年度
基本施策名	第1節	ゆとりある学校教育の創造	~63 年度
施策名	第2施策	小・中学校教育の充実	

## 2 実施根拠及び関連法令等

学校給食施設、設備整備方針、文部省「学校給食衛生管理の基準」(平成9年4月1日)

## 3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
清新学校給食センターから受入校5校への給食の配送。		受入校5校と応援校の児童・教職員等	
		対象数	約3,800人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
一般給食。 @22200×2×182=8080800円 @22,200×115=2,553,000 テーブルゲート車@34,200×67=2,291,400 センター炊飯車@22,200×56=1,243,200 合計14,168,400×1.05=14,876,820		無	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

## 4 評価指標

指標名	実施率		
指標式	給食実施回数 / 給食予定回数		
指標設定の意図			

## 5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	100	100	a 100	b 100	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	18,302	15,501	14,877	16,409	16,345
	人員・時間数	52H	52H	52H	52H	52H
	人件費	218	218	218	218	218
	その他経費					
	合計	18,520	15,719	15,095	16,627	16,563
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b}$	$\frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
		$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$

理由：

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由：	受入校の単独調理化の施設が整わない限り必要である。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由：	センターからの給食配送は安全に確実に受入校に届けられなければならない、限られた時間の中での迅速な対応に専門家であるプロのドライバーの効率的な配送は妥当である。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが妥当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由：	既に民間輸送会社に委託をしている。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由：	安全で美味しい給食を決められた時間に食べられるように配送している。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由：	教育の一環である給食の時間がより充実したものになるために、決められた時間に安全に配送できていることに事業実施の妥当性がある。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		<p>説明：</p>
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		<p>説明：</p> 運輸業界の話を総合的に判断すると単価的にほぼ限界まで下がっており、これ以上のコストダウンは望めない。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b}$	$\frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
		$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$

理由：

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由：	受入校の単独調理化の施設が整わない限り必要である。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由：	センターからの給食配送は安全に確実に受入校に届けられなければならない、限られた時間の中での迅速な対応に専門家であるプロのドライバーの効率的な配送は妥当である。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが妥当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由：	既に民間輸送会社に委託をしている。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由：	安全で美味しい給食を決められた時間に食べられるように配送している。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由：	教育の一環である給食の時間がより充実したものになるために、決められた時間に安全に配送できていることに事業実施の妥当性がある。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p>
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> <p>運輸業界の話を総合的に判断すると単価的にほぼ限界まで下がっており、これ以上のコストダウンは望めない。</p>

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点